



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第22号
令和2年12月18日発行
千葉市立貝塚中学校
Tel.231-7077

◆勉強十戒◆

校長 北島 啓行

バスケットボール部の顧問をしていて、色々な学校に練習試合に行きました。中には、高等学校に練習を申し込み、訪問することも多くありました。高等学校の体育館の壁面には、その部の掲示物が様々貼ってあり、とても興味深いものです。下記は、県立船橋高等学校の体育館に貼ってあったものです。県内では、トップクラスの進学校で、文武両道を備えた伝統校で、さすがと思わせるものでしたのでご紹介します。

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
大胆にして 小心と粗放に 勝利はない	謙虚に反省せよ 向上へのクッションである	現状に対して素直になれ 批評家になるのは成功してからだ	成功者の言に耳を傾けよ 暗夜を照らす灯だ	断じて途中でやめるな 中断はゼロである	勉強法を工夫せよ 興味ある勉強は能率を上げる	自己のペースを守れ 他を見ればスピードは落ちる	無駄をはぶけ 戦略の第一は時間の合理的配分である	精神を集中せよ 集中の度合いが理解の度合いである	学習の計画を立てよ 計画のないところに成功はない	勉強十戒

この「勉強十戒」をネットで検索したら、どうやら旺文社の創業者 赤尾 好夫氏（1907－1985）が、高校生・大学受験生のために自ら創造し贈ったもののようです。次代を担う若人に向けて作られてから、半世紀以上経ち社会が変化した今日でも、決して色あせることのない名言だと思います。3年生にとっては、いよいよ受験シーズンの最終段階です。1，2年生にとっても年末に際し、自分の学習状況を振り返るきっかけとなってくれば幸いです。

◆朝読書の読み聞かせ◆

本校では、朝の登校後 8:10～8:20、朝読書を行っています。各自が自宅から本を持ってきて 10 分間、集中して本を読んで、読書に対する興味・関心の向上を目指した活動を行っています。今回、図書委員会の活動の一環で、生徒による「読み聞かせ」を行いました。これは、各クラスの図書委員代表 2 名がペアとなり、朝読書の時間に他のクラスに赴き、読み聞かせを行うものです。図書委員の生徒はこの活動を行うのに際し、読むスピードや抑揚のつけ方など、聞き手がわかりやすいように工夫を凝らし、練習を念入りに行い当日に臨みました。



今回の読み聞かせは、後期の図書委員会のメンバーで初めての全体活動だったので、不安なことも多々ありました。しかし、先生方のご支援やクラス代表の協力で、とても良い活動ができました。最初は恥ずかしがったり、緊張で声が小さくなってしまいましたが、ペアでたくさん練習をして、先生方や生徒の方から多くの好評をいただきました。最後、読み聞かせをしていた人達も、読み聞かせを聞いていた人達とも、笑顔で活動ができてよかったと思います。読み聞かせにご協力、ありがとうございました。また全校で楽しめる活動を図書委員会で企画しますので、次の活動を楽しみにしててください。これからも、図書委員会にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

< 図書委員長 >

◆高校入試概況◆

今、3年生は

現在、3年生は来るべき入学試験に向けて準備を進めています。受験勉強はもちろんですが、受験票の写真撮影、願書の下書き・清書、受験料の振込など、様々な準備をしなければなりません。

12月に入り、現在ほとんどの高等学校で実施している“面接試験”の対策を行っています。先日までに、私立高校第一希望の生徒 41 名が校長面接を終えました。校長室にて 1 対 1 で行われる面接は程よい緊張感のもと、志望動機や高校で頑張りたいことを答えるなど、しっかりと伝えることができました。コロナ禍の中での面接ですので、お互いにマスクをしています。そこで、2 点アドバイスです。



- ① マスクをしての面談ですので、表情がわかりづらいです。そこで大事なものは“目”です。「目は口ほどにものを言う」ということわざがありますが、人間が感情を最も顕著に表すのが目、「目は心の窓」という言葉もあります。“目”で自分の意気込み、気持ちを伝えましょう。
- ② マスク 1 枚の隔たりのために声がこもり、声が小さくなりがちです。聞き取りやすく理解してもらえるように、いつもよりマスクの下でも大きな口を開けて、ボリュームアップを意識した方が良いでしょう。